



【第4分科会】

就労移行支援事業所を利用された 重度失語症の方の支援報告 -医療情報と就労訓練から見えた強みと 企業に求める配慮、採用の決定打

○ 柏谷 美沙

(NPO法人クロスジョブ クロスジョブ札幌 就労支援員)



はじめに

- 森田・春原によれば、失語症者の社会復帰を支援するには、対象者の「全体像」の把握が大切であるとされている。
- 医療機関やご家族と協力して全体像を把握し、
「強み・障害特性・配慮」といった対象者の全体像を伝える
アイテムを作成して連携機関と対象者の情報を共有し、
企業に就職した事例を紹介する。

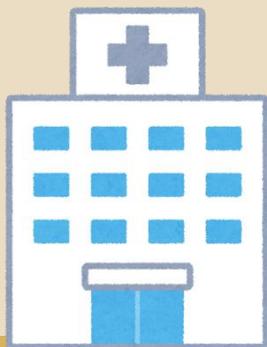
【参考文献】

森田秋子・春原則子『フレッシュSTのギモンを解決！失語リハビリQ&A』

事例紹介

- 由美さん（仮名） 40代女性
- 心原性脳梗塞栓症による失語症
- 夫、息子と同居。近所にご両親が在住
- 退院後、由美さんが「働きたい」とご家族に希望を伝える

通院先のリハビリテーション病院、担当言語聴覚士から
クロスジョブへ相談があり、利用に繋がった



クロスジョブ



事例紹介 利用前にいただいた医療情報



- 心原性脳梗塞栓症による失語症
- 聴く、話す、読む、書く、計算、全ての項目で重度の障害がみられた

由美さんの特徴	理解	親しみのない言葉の理解が不十分
	発話	単語レベルで表出されることがあるが2語文程度伝えたい言葉を想起できるが音への喚起が困難
	読解	簡単な内容であれば短文レベルまで可能
	音読	使用頻度の高い文字であれば可能
	書字	メモなどに利用は困難
	計算	困難
<ul style="list-style-type: none"> ● 言語機能以外は概ね保たれ、状況からの理解が良好 ● 伝えたい内容は、簡潔にまとめ、使用頻度が高く親しみのある言葉を使用し文字や写真、ジェスチャー等の使用が有効 		

事例紹介

由美さんの全体像を把握するための 支援員の取り組み

由美さん

- 訓練で使用する用紙の変更・作成
→目標や評価を○付けできる由美さんの負担が少ない形に変更し、訓練での感情を把握する方法を準備
- 週1回の定期面談
→訓練の工夫や就職条件の希望を共有（ホワイトボードに記入して読み上げてお伝え）

家族

- 定期連絡
→訓練内容や行った対策をお伝え
家での様子の聞き取り
ご家族の不安やご意向等を聞き取り

現在の由美さんを理解していただき、
今後も由美さんを一緒にサポートする
理解者になっていただく

医療機関

- 外来リハビリ（言語聴覚療法）に同行
→リハビリ内容から訓練に活かせることがないか検討
訓練の様子をお伝えして、就職活動に活かせるリハビリを検討

事例紹介

訓練を開始して見えた、行える仕事の広がり

由美さんに合った仕事の伝え方



〈最初に行ったピッキング訓練の場合〉

- ①支援員が作業をしている様子を見せる
- ②由美さんが見よう見まねで作業をする
間違っていたらその場で支援員が正しい作業を見せる
- ③3回くらい繰り返す



- 作業手順が由美さんに伝わって、作業を覚えられた
- 注文書の文字と商品棚の文字を絵のように照らし合わせて商品を見つけられた



楽しい！

他の訓練も同様に伝えることで、行える作業が増えた

事例紹介 施設外就労訓練（クリーニング工場）

洗濯回数、洗剤の種類などの複数の指示を伝える時は、指示を紙に書き、紙を由美さんに見せながら読み上げ、最後に由美さんに紙を渡す



きぎょう
企業：

せんたく 洗濯カード	かい 1回	かい 2回
しわ 仕分け：		
すいどう 水道：		
せんざい 洗剤：		
ほか その他：		

作業のイメージが伝わって、紙を渡すだけで作業ができるようになった

由美さんが新人スタッフに仕事を教えてくれることもあった

事例紹介 企業実習（クリーニング工場）

施設外就労先とは別の一般企業で、仕事を行っても由美さんが対応できるか、企業が配慮に負担を感じないか確認をするため3日間の実習を行った

勤務時間 9時～15時半

作業内容 タオルたたみ、洗濯後のタオルを台に出す

企業へ事前に伝えたこと

『作業手順の伝え方』 『困った時は手を上げて意思表示をします』

結果

- 現場担当者に見本を見せてもらい、由美さんの作業が合っているか確認していただく問題なく作業ができた
- 現場担当者は負担を感じなかった
- 単語の発話やジェスチャーで会話ができた
- 事情を知らない職員に1人で実習生だと伝えられた
- 楽しく笑顔で働けた

適切な配慮が得られると、
強みを活かして働ける



就職活動

支援員との面接練習からわかったこと

- 緊張すると、長所である笑顔が険しい顔になってしまう
- 相手の言葉がいつも以上に理解しにくく、発話ができない
→ 由美さんの良さが伝わらず、配慮事項が目立ってしまう

アイテムを作成し、就職活動の連携機関や企業に、由美さんの長所を伝える工夫を行った

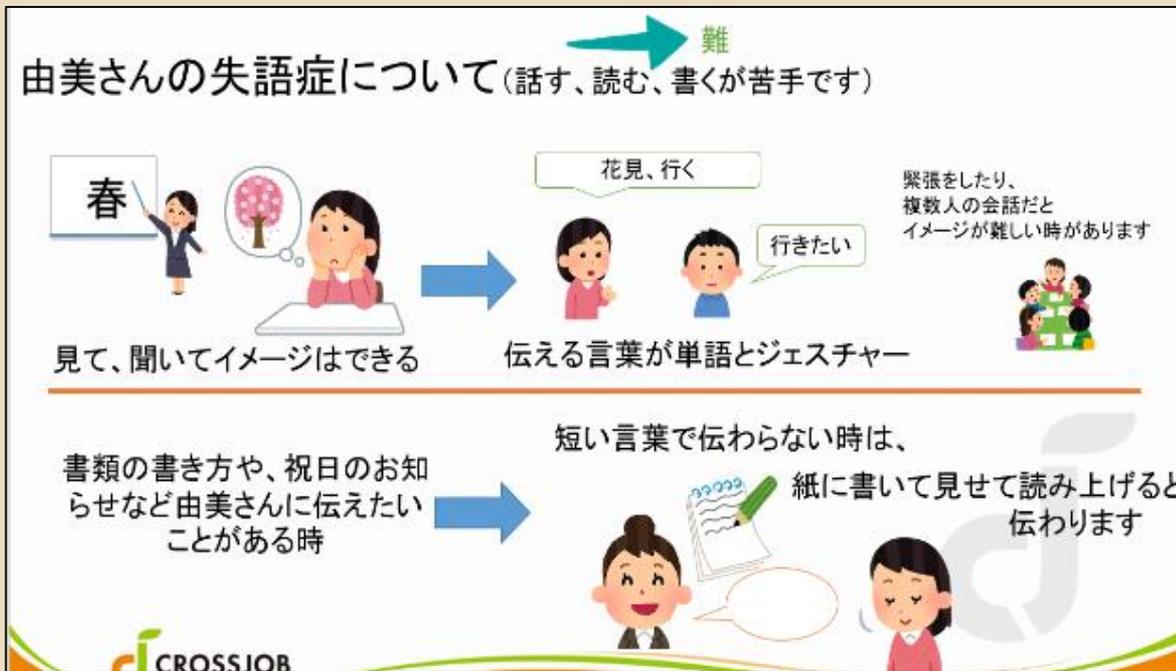
【由美さんの長所】

できる仕事がある、どんな仕事でも楽しめる、体力がある、困った時の意思表示ができる、体調不良等による欠席がない、人から好かれる性格、明るい前向きな性格、など



就職活動 面接アイテム①

- 「失語症の説明」「仕事を覚える方法」「体力・人柄等の長所」を伝えるための資料を作成
- 面接にパソコンを持参し、「資料」と「仕事をしている動画」を支援員が説明



由美さんは、支援員の隣で笑顔を見せたり、頷くといった動きを行った



就職活動 面接アイテム②

緊張して出にくくなる発話を促し、由美さんがご自分で気持ちを伝えるために、面接で見ながら話すカンニングペーパーを作成

笑顔  困ったら柏谷を見る

はらだ ゆみ ねが
原田 由美です。よろしく申し上げます。

しごと はたら
仕事をしたい。  働きたい。

み はたら おも
見て  働きたいと思った

でんしゃ ○○○○ ○○○○ かたみち さんじゅっぶん
電車 ○○→○○ 片道 30分
  

作成した文章を由美さんに読み上げていただき、発話しにくい単語の側に、最初の文字をイメージするイラストを由美さんと一緒に決めてカンニングペーパーに取り入れた

面接アイテム①、②を使用した面接練習を週1～3回由美さんと一緒に行った

就職活動～採用



応募予定企業の事前見学

- ・清掃員を募集していた企業へ由美さんと支援員、由美さんを共にサポートしていたハローワーク職員が見学
- ・面接アイテム①、②を使用して由美さんを紹介

採用面接

- ・由美さんは、一度見学を行ったため緊張が少なく、すこし笑顔を出せた
- ・採用担当の方から、見学時に「安定して通勤し、働く体力がある」「前向きで好かれやすい人柄」「社内で行える合理的配慮」を聞いて採用のイメージができたため、見学後に前向きに採用を検討していたと言われ内定をいただいた



由美さんが就職された際に、由美さんとお母様と支援員と一緒に作成したブログです
ぜひ、ご一読ください



就職後の由美さんの変化

検査項目	入院中（2020年7月）	現在（2023年9月）
呼称	9/20	17/20
口頭命令に従う	0/10	1/10
動作説明	6/10	6/10
語の列挙	0語/1分	5語/1分
<p>発話できる単語が増えた 長文の理解や目の前にない物を伝える単語や言葉を話すことが難しいため、 イメージを伝える工夫が必要（物や動きを見せる）</p>		

- 働いたお金で野球観戦を楽しんでいる
- ご両親を沖縄旅行に連れて行った
- 「お先に失礼します」を言えるようになった
- 就職先から「最初の障害者雇用が由美さんで本当に良かった」と言われた
- 掃除中に話しかけてくれる仲の良い職員が増えた

まとめ（就労移行支援事業所が果たす役割）

- 対象者を取り巻く人々や訓練の様子から全体像を把握することで、言葉でのやりとりが難しい対象者のできる作業や長所を増やす
- 医療機関と連携して必要な情報を伝えるアイテムを作成し、連携機関に働ける可能性を感じてもらい共に就活をサポートし、企業に自社で働くイメージを持っていただく

働きたいと希望される重度失語症のある方が
障害の程度のイメージにとらわれずに働く可
能性を広げる